# 様式第１号の２（第７条関係）

**記載例（子ども食堂　拡充枠）**

**事　業　計　画　書**

|  |  |
| --- | --- |
| 団体(又は個人)の名称 | ○○グループ主催団体名を記載。 |
| 代表者名 | 別紙同様 |
| 設立時期・活動始期 | 同上子ども食堂　運営補助枠も申請している場合、別紙同様と記載してください。 |
| 会員数・会費 | 同上 |
| 申請事業名（仮称可） | 同上 |
| 活　動　目　的 | 同上 |
| 活　動　内　容 | 　子どもが地域の高齢者と交流しながら簡単な料理を一緒につくり、食卓を囲むことで、子どもの孤食や居場所づくりに取り組んでいる。また、それに加え、学びの支援（例１～４参照）を行う。(例１)学生ボランティアを募り、子どもたちへ宿題の支援を行う。また、高校生や大学生と話をすることで、進学への具体像を描いてもらい、学習意欲の向上に繋げる。(例2)学生や地元有志によるサッカー教室等のスポーツ教室や、スポーツ大会を開催する。(例3) 子どもたちが夢や希望を持って成長していけるように多彩な職業の方(保育士、新聞記者、消防士等)を講師として招き、キャリアスクールを実施する。 (例4)留学生等に、自国の言葉、文化を話してもらう交流会、自国の料理を披露してもらう料理教室を実施する。多文化共生の促進を図る。・子ども食堂としての活動内容（運営補助枠の計画書を提出する場合、省略可）・どのような学びの支援（学習支援、スポーツ、芸術活動、キャリア教育、グローバル・多文化教育、等）を行うか記入。 |
| 主な活動場所 | 別紙同様 |
| 助成を受けたい活動内容とその理由 | (例1)上記の学習支援を行うにあたり、電気スタンドやホワイトボード、参考書の購入に使用したい。(例2)上記のスポーツ活動をするにあたり、サッカーボールや、ビブス、用具収納用品等の購入に使用したい。(例3)キャリアスクール実施にあたり、職業を学べる書籍や教材の購入に使用したい。(例4)多文化理解のための書籍や教材の購入に使用したい。 |
| 主な参加者層 | 小学生、中学生 |
| 広報・周知方法 | 新規企画であるため、Facebookやインスタグラム等のSNSでの広報にも力を入れる。 |
| 活動の継続性 | 　助成金を活用して、備品を購入し、今後も本事業を定期的に開催できるようにする。次年度開催へ繋がるよう参加者や協力者を一定数集める。資金、スタッフ、利用者の確保、自己収入の増加、他団体との連携体制等、一定の計画性があることを記入。 |
| 今後の活動の展開 | 　開催にあたり、大学生や地域の○○団体に、運営サポートを依頼している。地域の多様な主体と連携し、地域コミュニティの活性化にも繋げていく。事業の広域化や支援内容の充実（活動規模、利用者のニーズを受けての変更点、）を図るための計画、数年後の事業展開の構想を記入。　 |
| 関係団体や機関等との連携体制 | ○○大学や○○高校の教員及び学生、○○スポーツチーム提携団体、ボランティア団体、地域コミュニティ、行政等、連携を（予定）している連携先を記入。提携団体、ボランティア団体、地域コミュニティ、行政等、連携を（予定）している連携先を記入。提携団体、ボランティア団体、地域コミュニティ、行政等、連携を（予定）している連携先を記入。提携団体、ボランティア団体、地域コミュニティ、行政等、連携を（予定）している連携先を記入。 |
| 活動の独自性・先進性 | 地域の学生や学習指導経験者等に協力を得て、塾に通えない子どもや、自宅で勉強に取り組めない子どもたちに学習の機会をつくる。また、学生と接する機会を作ることで、学習意欲が向上したり、将来の目標を持ったりする子どもを増やす。事業の独自性や先進性、団体の特性、他の団体の模範となる点を記入。 |
| 見込まれる効果 | ・子どもの参加延べ人数　○名・将来の目標（進学や職業等）を持てた子ども　○名・ボランティアの参加人数　○名・子ども達の学習意欲の向上、自己肯定感の向上を目指す。・ボランティアは、できるだけ近隣から募り、子どもたちを地域全体で見守る意識を醸成する。事業実施を通して見込まれる効果を数値や文章で記入。実績報告時に、結果を成果として記載していただきます。 |
| 衛生管理体制※第２条１項６号の活動に対し、助成を受けようとする場合のみ記入 | 記載不要 |
| 市から受ける他の助成金等 | 無し　・　有り（　○○助成金　　） |

民間の助成金等を受けている場合、その名称を記入。

同事業に対して、市の助成金を受けている場合は、助成の対象となりません。